



市町老連の
活動報告

播磨町シニア連

広がる多世代交流 (小中学生との交流の輪)

播磨町シニアクラブ連合会は、コロナ禍が終息しかけた令和4年に、町内の小学校からのご依頼を受け、おはじきやお手玉、こま回しなどの昔遊びを教え始めました。

そして、この活動が授業の一環として行われるため、私たちは「地域の先生」とも呼ばれています。

さらに、年を重ねるごとに、交流対象が1年生から2年・3年・4年生へと広がり、また、メニューも、大シャボン玉教室やモルック教室などが増えました。

また、嬉しい反響として、この子供達の様子が話題となり、播磨町の教育委員会からも、町内の4つの小学校・2つの中学校でも交流して欲しいとのご依頼を受け、33万円の予算措置まで手当てしていただいております。

おかげさまで反響も大きく、次々と各校の先生のご訪問を受け、私たちが日程調整等、嬉しくも多忙な日々を送っています。



シャボン玉教室

今年度は、まず、6月12日に、小学4年生とシャボン玉教室を開催しました。

9月以降は、私たちが、それぞれの学校に赴き、モルック大会や大シャボン玉教室を行うことに加え、学校の環境整備にも協力することとなっています。

正直、小中学生との交流はとても疲れますが、交流後に、きちんとお礼を言ってくれるこどもたちの礼儀正しさと笑顔が、私たち会員の元気・活力になっています。

お礼を言ってくれる
こどもたち



嬉しそうに駆け出す
こどもたち

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています